

船井情報科学振興財団 2015年 留学報告書 (5月)

ケンブリッジ大学工学博士課程デザインマネジメント専攻
重本祐樹

【正課活動】

3年の博士課程の内、早くも半分が終わってしまいました。入学したのがつい先月のことのように、ケンブリッジの時間は瞬く間に過ぎて行きます。(毎学期スタートと同時に全力疾走で、毎日何かしらのメットと奮闘しながら部活をしていると気づいたら終わっています。)

正直な所、研究進捗に関しましては、前回の報告からあまり大きな変化はありません。毎日研究計画書の修正、論文投稿に向けた読書と執筆が繰り返される日々です。前回の報告書でお伝えしましたが、今学期やっと実験に入れるかと思いきや、計画書提出、指導教官の合格通知から数日後、アドバイザーから問題点の指摘を頂き、協議の結果もう少し練り直しとなりました。最後一段階なのですが、それが中々上手い答えが見つかりません。本報告書を執筆している今日も、微調整に精を出しています。が、気候は穏やかになり、天気もよく、いくばくか気は晴れる今日この頃です。

自分の研究の傍ら、Lent Term (2学期) には、修士課程の学生への Supervision (少人数ディスカッションクラス) にて、マーケティングを指導する機会を頂きました。80分間の授業が2週に1度あり、学生5人のグループを3つ担当しました。学生は各回に課題を与えられ、Supervisionの2日前までにエッセイを提出、それを Supervisor (指導教官) が採点し、学生の理解と意見を元に、授業内容とディスカッションの準備をするという流れです。そのため、2週に一度とは言え、Supervisionの週は3クラス計15名分のエッセイの採点と授業準備(予習)に追われ中々大変でしたが、自分にとっても新しい知識と出会えたり、大学生を指導する立場を考える良い経験となりました。

また、論文の査読の仕事なども受ける様になり、3月の暮れには日本でも学会に参加して参りました。本業の研究と、それに関連する課外業務を上手くバランスを取りながら進めていきたいと思います。

【課外活動】

Lent Term には、バドミントン部最大のイベントである Varsity Match がありました。結果は、残念ながらオックスフォードに負けてしまいました。悔しい、という以外特に感想はないので、残念ながら本件に関してはこれ以上筆が走りません。

ボート部の方とは言いますと、先月に合宿でスウェーデンに行き、山岳地帯の湖で1週間ほど練習をしていました。が、まだまだ寒さも残っていた4月のスウェーデンで、合宿最終日に座礁し、雪の降る中まさかの救出劇にも見舞われました。8人中4人のクルーが救助ボートで陸に上げられ、私を含む残りの4人が、救助ボートに引っぱり座礁から脱したボートを漕いでボートハウスまで戻らねばならず、道中あまりの寒さから(半ばしもやけの一步向こう側でした)「あ、指先落ちる。」と本気で思いました。「手袋は？」と思う方も居るかもしれませんが、ボートのクルーは手袋をしてはいけないという規定があるため、誰も装備していません。漕ぎ出してから15分ほどでしょうか、ようやくボートハウスに到着し、全員でシャワーに転がり込みました。全身あまりに冷えていたので、シャワーが痛く感じ、しかしだんだん慣れて

船井情報科学振興財団 2015年 留学報告書 (5月)

ケンブリッジ大学工学博士課程デザインマネジメント専攻
重本祐樹

来ると、あの時のシャワーの温かさ、そしてその後食べた茹でたてのドイツソーセージの味は筆舌に尽くし難いものでした。やはり美味しい料理の完成とは、作り手だけでなく、食する側の状態も万全（ないし極限）であってこそ、ということでしょうか（ちょっと違いますね）。

さて、以上で博士課程2年目の後期報告を終えさせていただきます。最後まで読んで頂き、ありがとうございました。日本の皆様が薫風爽やかな季節を楽しんでおられますことを。Σd(・ω・)

2015年5月

重本祐樹

Doctoral Researcher
Design Management Group
Institute for Manufacturing
University of Cambridge
ys402@cam.ac.uk